

六中だより



文責
早瀬泰志

文化祭、感動しました

十一月八日、多数の保護者の皆様や徳田会長をはじめとする学校運営協議会の方々にお越しいただき、コロナ前とほぼ同様の日程の午前中に文化祭、午後からは合唱コンクールと終日開催ができました。文化祭テーマ『アオハル』新しい自分を探し、自分のカラーを見つけてよう！は、青春という言葉を読み込んで読んだもので、かけがえない「今」という時間をしっかり楽しみながらも、新しい自分探し、自分らしさを見つめようという意味を含めて、生徒会の皆さんで決めてくれました。今年の文化祭は、まさにこのテーマのごとく、生徒たちの目映いばかりの個性とそれぞれの学年が培ってきたそれぞれの



良さを十分に発揮できた行事となりました。ステージでは、吹奏楽部の演奏や総合的な学習の発表、あなたの特技みせまの、合唱コンクールが行われました。その総合的な学習の時間では、一年生は「私たちの誇れるもの」として、八代が誇るたくさんのもものPRをわかりやすくまとめて発表しました。二年生は「職場体験発表」として、職場体験で経験したことを、劇風にまとめ、楽しく伝えてくれ



良さを十分に
発揮できた行
事となりました。

ステージで

は、吹奏楽部の演奏や総合的な学習の発表、あなたの特技みせまの、合唱コンクールが行われました。その総合的な学習の時間では、一年生は「私たちの誇れるもの」として、八代が誇るたくさんのもものPRをわかりやすくまとめて発表しました。二年生は「職場体験発表」として、職場体験で経験したことを、劇風にまとめ、楽しく伝えてくれ



ました。
三年生は「マイライフ」という自分の人生を選択する劇を真剣に演じ、見ている人の気持ちを引きつける見事な演技でした。
展示部門では、生徒たちが授業で創意工夫して制作したたくさん作品が会場を賑わせていました。
午後の合唱コンクールでは、それぞれの学年がこれまでの練習の成果を歌声に乗せて一生懸命歌っている姿があり、嬉しく思いました。中でも、さすが最上級生！三年生の表現力豊かな素晴らしいハーモニーは、聞いている一人一人の心に心地よく響く素敵な歌声でした。
六中の全生徒と全職員が文化祭にかける思いとその姿に感動した一日でした。